

情報えひめ（財団からのお知らせ）【140号】



平成30年7月豪雨災害により犠牲になられた多くの方々に対しまして、心からお悔やみを申し上げますとともに、被災され今なお生活再建や事業再開にご苦勞を重ねておられる皆様方に衷心よりお見舞いを申し上げます。

当財団におきましては、愛媛県内で被災された事業者様の経営再建のご相談などにも積極的に対応していく考えですので、事業再開など復旧にめどがつかましたら、よろず支援拠点やビジネス・サポート・オフィスなどにお気軽にご相談いただきますようご案内いたします。

また、グループ補助金の交付決定を受けた被災中小事業者を対象に、同補助金の自己負担分を無利子で貸付する制度の取扱いをはじめましたので、お気軽にご相談ください。

公益財団法人えひめ産業振興財団理事長 大塚岩男



今回の目次

◎お知らせ・イベント・募集情報等

- [1] テクノプラザ愛媛本館 施設利用の一時停止について
- [2] 令和元年度 高度IT人材創出・育成研修のご案内
- [3] 新価値創造展2019（第15回 中小企業総合展 東京）の出展者募集！
- [4] チョット「一服、(22) ～話の彩りに～

—[イベント・募集情報]—

◆ [1] テクノプラザ愛媛本館 施設利用の一時停止について

テクノプラザ愛媛本館の空調設備機器更新工事のため、工事期間中は下記のとおり一部施設の利用を停止させていただきます。

また、工事期間中は空調運転が停止するため、エントランスや事務室など館内各所の室温が高くなることが予想されます。

ご利用のみなさまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

記

- 工事期間  
令和元年7月13日（土）～令和元年7月28日（日）

- 利用停止施設  
テクノホール・研修室・会議室  
OA 研修室・特別会議室・小会議室

※レストラン「family dining Nico」は、空調も含め通常通り営業いたします。

◆ [2] 令和元年度 高度 IT 人材創出・育成研修のご案内

高度化する情報関連産業のニーズを踏まえ、実践かつ即戦力として活躍できる人材を育成するため、愛媛県の補助を受け、IT 技術者の実務・技術両面のスキルアップにつながる高度 IT 人材創出・育成研修 6 講座を実施します。

なお、本事業には、賛助会費収入を財源として充てています。

<各講座とも先着順となっております。申し込みはお早めに！>

- 1 【講座名】 Raspberry Pi による IoT ことはじめ  
【実施日】 2019 年 8 月 19 日 (月) ~21 日 (水) 3 日間  
【概要】 Raspberry Pi 3 を使って、Raspbian(Linux)のインストールから環境設定、Linux の基本コマンド、Python という言語を使って GPIO ピンに接続したパーツ (LED、モーター) を制御、そしてネットワークで HTTP を介して Raspberry Pi をコントロールする知識を習得する研修です。
- 2 【講座名】 IT 技術者が知っておきたいネットワークセキュリティ対策  
【実施日】 2019 年 9 月 24 日 (火) ~25 日 (水) 2 日間  
【概要】 企業のネットワークシステムにとって脅威となる、不正アクセス攻撃、情報漏えい、コンピュータウイルス被害など、その技術的な手法や動作などを理解し対策する方法を学習する研修です。
- 3 【講座名】 IT 技術者のための RPA 入門  
【実施日】 2019 年 10 月 3 日 (木) ~4 日 (金) 2 日間  
【概要】 今、注目されている RPA (Robotic Process Automation) がどのような業務で活用されているのか、具体的な導入事例の解説により、対象となる業務プロセスのイメージを広げていきます。  
さらに、実際の業務適用を検討することにより、PRA 導入検討時のポイントを学習します。
- 4 【講座名】 会社の競争力を高めるビッグデータ分析  
【実施日】 2019 年 10 月 28 日 (月) ~29 日 (火) 2 日間  
【概要】 本講座では経営課題や顧客ニーズを読み解く分析能力を習得することを目的としています。具体的には身近にあるエクセルを使ってデータ分析を行い、またその際に必要となる基本的な統計知識も併せて学習します。  
昨今の AI のベースとなっている統計解析手法についてフリーソフト「R (アール)」を使って学習します。プログラミングや統計の専門知識がなくても、誰でも簡単に学ぶことができます。
- 5 【講座名】 ネットワーク運用管理実践  
【実施日】 2019 年 12 月 23 日 (月) ~24 日 (火) 2 日間  
【概要】 社内外のシステムを管理するための基本を学びます。  
管理者のスキルや経験に依存するのではなく、管理するために必要な情報を整理し、日々の運用のなかで行うべき作業を体系的に学びます。また、管理するための情報を正しく取得するために、ネットワークの仕組みを正しく理解し、スキルを身に付けます。
- 6 【講座名】 Python によるディープラーニング入門  
【実施日】 2020 年 1 月 14 日 (火) ~15 日 (水) 2 日間  
【概要】 第 4 次産業革命の主役の一つである AI について、そのキーワードである機械学習とディープラーニングの基礎を Python 言語を使いながら学習します。  
Python のオープンソース機械学習ライブラリである scikit-learn と TensorFlow を使ってディープラーニングとはどんなものを体験する研修です。

※各講座共通

【場 所】テクノプラザ愛媛

【定 員】各講座 15 人 (Raspberry Pi による IoT ことはじめのみ 10 人)  
(受講申込書により申込必要)

【受講料】2 日間 15,000 円/人、3 日間 22,500 円/人 (テキスト代込)

※詳細URL

<http://www.ehime-iinet.or.jp/it/2319>

---

◆ [3] 新価値創造展 2019 (第 15 回 中小企業総合展 東京) の出展者募集!

---

新価値創造展 2019 (第 15 回 中小企業総合展 東京) の出展者を募集します。

---

新価値創造展 2019 (第 15 回 中小企業総合展 東京)

会期: 2019 年 11 月 27 日 (水) ~ 29 日 (金)

会場: 東京ビッグサイト 南 1・2 ホール

主催: 独立行政法人中小企業基盤整備機構

---

【出展料】

・標準小間: 110,000 円 (9 m<sup>2</sup>タイプ・3 日間)

・ミニ小間 77,000 円 (5.4 m<sup>2</sup>タイプ・3 日間)

---

>>> 出展申込はこちら <https://shinkachi-portal.smrj.go.jp/event/shinkachi2019/>

◆ どんな展示会? -----◆

新しいアイデアや技術を求める大企業・中堅企業等の研究開発、事業企画、マーケティング部門をはじめ、新製品やサービスの取り扱いを目指す企業等との連携構築、共創、ビジネスマッチングを目指す展示会です。

◆ 出展対象分野は? -----◆

- ・産業・技術 (生産技術、新素材、IoT、ロボット)
- ・健康・福祉 (健康、予防、医療、介護)
- ・環境・社会 (環境、防災、社会・地域課題)

◆ 新価値創造展の魅力は? -----◆

○来場者数 35,653 人! (前年度実績)

○大手企業・中堅企業の研究開発、事業企画・マーケティング部門等の来場者数の割合は約 5 割弱! (前年度実績)

○サンプルやカタログ、関係資料の提出があった出展者 90.3%! (前年度実績)

◆ 出展効果を高めるサービス&ツールは? -----◆

○出展製品 PR 動画

新価値創造展 2019 の出展ブースにて撮影を行い、出展製品 PR 動画を作成します。

○出展者プレゼンテーション

専用ステージにてプレゼンテーションの機会をご提供します。

○マッチングサポート

会場内にマッチングコンシェルジュを配置し、来場者と出展者のマッチングをサポートします。

○新価値創造 NAVI (ウェブ展示会)

「新価値創造展 2019」に出展応募すると、「新価値創造 NAVI (ウェブ展示会)」への出展応募も同時に完了します。

---

■ 出展者募集中! (締切: 7 月 19 日 (金))

<https://shinkachi-portal.smr.j.go.jp/event/shinkachi2019/>

以上でございます。  
ご不明な点がございましたら事務局まで何なりとお問合せ下さい。

<お問い合わせ先>

---

新価値創造展事務局  
TEL : 03-5657-0848  
E-mail : [shinkachi2019@jtbcom.co.jp](mailto:shinkachi2019@jtbcom.co.jp)

---

当事務局は、独立行政法人中小企業基盤整備機構より(株)JTB コミュニケーションデザインが受託し運営しております。

---

◆ [4] チョット「一服」(22) ～話の彩りに～

---

☆☆

天保庄屋同盟の盟約52カ条の基調になっている精神は平等思想としか言いようがない。  
(中略)例えば、第22条には、「およそ一天四海のうち棟梁は唯一にして」とある。(中略)明治10年代までの土佐を特徴づけたものに自由民権運動があるが、これも天保庄屋同盟と照応するのであろう。\*棟梁…朝廷  
『街道をゆく』、⑧「熊野・古座街道」p.73) [朝日文庫]

司馬は、昭和50年に熊野・古座街道取材の際、案内人からこの地域では上下の差という意識がないという話をきき、土佐の天保庄屋同盟について紀行文につづった。  
司馬は、「竜馬がゆく」(昭和37年～41年)の執筆にあたって、彼らしく竜馬や土佐などに関して調べられるだけのことを調べた。その際、天保庄屋同盟(1837、現在の高知市を中心とした地域)のを知り、同盟の根本が平等思想であることに驚いている。  
同盟のきっかけになったのは、祭礼での庄屋(百姓)と町役(商人)の長年にわたる席順争いであり、ある意味、他愛ない。ただ、土佐における独特の支配構造が被支配階級であるかれらの平等思想をはぐくむ苗床(なえどこ)となったようである。  
土佐は、戦国時代は長宗我部氏が支配し、関ヶ原以降江戸期を通じ山内氏が支配する。初代藩主山内一豊の時代、長宗我部氏が百姓を武装集団化した「一領具足」が力をもっていた。山内氏はこの「一領具足」を治めるため、山内侍は「上士」、一領具足は「郷士」と「百姓」に分ける身分制をしいた。坂本竜馬も郷土出身であったが、同じ侍とはいえ上司と郷土の身分差は激しく、郷土階級は江戸時代ずっと不満を抱いていた。もとは一領具足の百姓階級も同様だったようである。  
大名や上士は仮のもので、朝廷のもとにみな平等であるという考えは、坂本竜馬の思想の基本にもなり、明治の自由民権運動へもつながっていくととらえられている。  
同盟のきっかけは他愛ないが、平等思想まで考えを発展させる土佐人は、南方的な情熱と理屈っぽさを兼ね備えたひとたちで、伊予人の私には少しまぶしい存在ですね。

((公財)えひめ産業振興財団専務理事 渡瀬賢治)

☆☆

財団専務理事の渡瀬です。私の愛読書『街道をゆく』(司馬遼太郎)を中心にした話を綴らせてもらいます。皆様方の話の彩りの一つになれば幸いです。

---

最後までご覧いただきありがとうございます。  
このメールマガジンは、財団職員と名刺交換させていただいた方や「情報えひめ」を配信希望された方に毎月1回、配信させていただいております。

